



豊東小だより

令和3年3月24日号

練馬区立豊玉東小学校

校長 梅津 靖子

豊玉東小の伝統を伝える・引き継ぐ

校長 梅津 靖子

1月に発出された緊急事態宣言が2回も延長された学校生活。より厳しい制限の中にあっても、子供たちは友達との関わりを大切に、よく遊び、よく学び、今できることに全力で取り組むことができた3学期でした。子どもたちの1日1日を、しっかりと支え応援して下さった保護者の皆様、地域の皆様に感謝申し上げます。

6年生を送る会は、2月末に分散での開催を予定していましたが、交流が難しいことや短時間での実施になったため、述べ6日間に分散しての開催となりました。第一部では、6年生からのメッセージが、合奏「Sing Sing Sing」に乗せて伝えられました。ジャズのリズムとメロディー。どれだけ困難なことでも、一人一人が努力をして全員が心を一つに取り組みれば、成し得ないことはない。そして、何事にも精一杯取り組みれば、喜びと達成感が得られる。これらのメッセージを込めた6年生の一体感のある素晴らしい演奏は、下級生に大きな感動を与え、尊敬と憧れの気持ちを抱かせてくれました。ですから、第二部の在校生からのお礼の出し物は、どの学年も、全員でありがとうのメッセージを伝えたいという気持ちが表れたものとなりました。各学年のメッセージを、6年生はしっかりと受け取っているのも、とてもよかったです。互いのことを大切に思う気持ち。全員で力を合わせ、めあてをもって頑張り抜く姿勢・意欲。どんなことでも思い切り楽しむことの大切さ。笑顔は、自分も他の人を明るい気持ちにするものであること。昨年引き継いだ豊玉東小の伝統は、ここでしっかりと引き継がれました。



さて、60周年の記念として植えられたまゆみの木が、臨時休業中に枯れてしまいました。平成6年、開校40周年の際にねりまの名木に指定されたまゆみの木が、中心となる木の幹の一部が枯れて弱ってきたために、その側に新たな若木を植えて元気を取り戻すようにと植えられたものでした。老木となったまゆみの木は、若木のよい影響を受けて、新たな枝を伸ばすほど元気になってきていました。しかし、一方で若木はその役目を終えたのか、新しい葉を付けることはできなくなっていました。そこで、6年生の思い出づくり事業の一環として、6年生に新しいまゆみの苗木を植樹してもらいました。そのまゆみの若木にも、若葉の芽が出てきました。今度は、老木となったまゆみの木を助けながら、自身もすくすくと枝は伸ばして逞しく成長してほしいと願っています。

前例のない困難が多々あったこの1年間。保護者の皆様、地域の皆様のご協力とご支援に、改めて感謝申し上げます。春季休業中も感染予防と健康管理を丁寧に行っていたいただき、どの児童も元気に進級できますようよろしくお願いいたします。来年度も変わらぬご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

<4月当初の行事予定>

- 6(火) 始業式 入学式
- 7(水) 給食(始) 定期健康診断(始)
- 8(木) 2~4年 4時間授業 委員会活動
- 9(金) 発育測定(3~6年)
- 12(月) 1年生を迎える会
- 13(火) モジュール学習(始) 発育測定(1~2年)
1年給食(始)
- 14(水) 視力検査(5・6年) 保護者会(6年 14:00 5年 15:00)
- 15(木) 視力検査(3・4年) 保護者会(4年 14:00 3年 15:00)
- 16(金) 視力検査(1・2年) 保護者会(2年 14:00 1年 15:00)

○春季休業中について

3/26~4/5、春季休業となります。
3月中は、開放事業は行われています。4月以降は、職員室や教室への入室はできません。また、平日は8時15分~16時45分に電話対応ができます。コロナに係る連絡は、この時間帯にお願いいたします。
※昨年度新型コロナ対応で追加した携帯電話は、3月中にて停止となります。ご理解・ご協力をお願いします。